

様式第五十の二（第48条第6項関係）

認定事業適応計画の（中間）実施状況の概要の公表 （令和5年度）

1. 認定の日付

令和4年4月4日

2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社アダストリア

3. 認定事業適応計画の実施期間

令和4年4月～令和7年5月

4. 認定事業適応計画の実施状況

（1）事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

株式会社アダストリアは、本計画において、同社が有する顧客データとデジタル技術を融合させて、新たな顧客接点を創造し、リアル店舗とWEBの双方でシームレスなサービス・体験を提供するとともに、店舗運営や商品企画、PR、物流など、あらゆる面でデジタル技術を活用した価値創造・生産性向上を進めていくこととしている。

この計画のうち、令和5年度においては、顧客向けにスタッフスタイリング提案を行うスタッフボードのアプリを継続改善した。また、自社ECのオープン化戦略においても、プラットフォームの改善を図るとともに、これらを支えるサプライチェーン環境の整備については、協力工場を繋ぐプラットフォームを稼働させ、双方に必要なデータをクラウド上のシステムで連携・一元管理できるようにした。その結果、SCM全プロセスにおいて必要なデータをシームレスに共有できるプラットフォームを構築することができた。

（2）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

令和5年度においては、同社のECの認知度の機能向上、取り扱いカテゴリーの拡充、スタッフと顧客との関係性強化により、顧客数と購買回数が増加を目指し、売上高の伸び率は令和3年度（2021年度）から令和5年度（2023年度）と比較し139.1%となった。

来年度以降についても、SCMプラットフォームの徹底活用による業務プロセス最適化を推進すると共に、自社ECを中心としたサービス拡充を行い、更なる収益改善を目指していく。

（3）財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

令和5年度（2023年度）において、有利子負債／CFが△2.3倍となり、経常収支比率が109.0%となった。

（4）実施した事業適応計画の内容

令和5年度（2023年度）においては、自己資金により、一部の資産は予定通り事業供用し、デジタル時代に適応したビジネス構造へ進化する取組みを先行的に実施し、売上高 **223,934** 百万円を計上し、投資額で除した値は **106 円** となった。